News of The Japanese Weekend School of New York

BIG APPLE

ニューヨーク補習授業校
56 Harrison St. Suite204
NewRochelle, NY 10801
Tel:(914)636-3770
Fax:(914)636-7476
平成 26 年 1 月 30 日　No.20
発行責任者：校長　櫻井郁男

「指導報告」・・・「教頭(校長)とのレポート往復より」

教科書に出てくる擬態語の中で、意味が分からない言葉がいくつかあり、国語辞典で調べました。国語辞典の使い方は、学年が上がってから学習するので、まだ早いかと思いましたが、ほとんどの児童が国語辞典を自宅に持っており、使ったことがある、というので、使い方を１から順序立てて教え、実際に言葉を調べさせました。また、「へんとつくり」も今後の学習内容ですが、漢字を仲間分けする時、意味（教科、天気、色など）だけでなく、部分で関連づけて覚えるには、後になっても役に立つと思い、読、話、語には「左側に言うの言がついている。」ことに気づいた児童達に「言うの言は、ごんべんと言います。」などといくつかのへんの名前を教えました。すると「ごんべんは、言葉と関係のある漢字だ。」ということにも気づき、「さんずい」は、水に、「くさかんむり」は、草花に関係がある、とこれまで習った漢字を仲間に分ける作業をしました。これも後になって、漢字辞典を引く時に役立つと思います。正規に学習する時に、前に少しやったことがあってもいいかと思いますが、どうでしょうか。（先行体験をさせることに問題はありません。また、児童の素晴らしい気づきを活用しない手はありません。・・・校長）

最後に、クラス名簿（まだ習っていない漢字多数）を使って、同じ仲間の漢字を分けてみました。自分達の名前が出てくると、やる気倍増になり、先日も、クラス全員の名前を使って、かけ算の文章題を作ったところ、興味を持って、どんどんやっていました。「やりたい」気持ちにさせるのには、工夫が必要ですが、週１回の授業では、時間が限られており、うまく活用するのがなかなか難しいです。（ここはという授業でぜひお願いします・・・校長）

４時間目の終わりに「今日は、時間が経つのが早い。」と児童から感想が出ました。休み明けで、久しぶりの補習校だったからかと思えば、「今日は、遊びが多かったからね。」という返事が返ってきました。手触りで得た感覚を「様子を表す言葉」にするゲームをしたり、長さの感覚をつかむために、手や体を動かして、「1m 定規」を作ったり、紙飛行機を作り飛んだ距離を予測し、飛ばした活動をしたので、児童は、「今日は、遊びが多かった。楽しかった。」と思ったようです。（理想的な学びですね・・・校長）

ヘブライ語では「学ぶ」と「体験する」は、同じ語源です。つまり、机に座って先生の説明を聞くことだけが「学ぶ」ことではなく、自分で手や体を動かし、目で見て体験することも「学ぶ」だとすれば、今日の授業は「遊び」ではなく「学び」であり、授業の終わりにまとめをして確認した時は、とてもよく理解しているようでしたが、児童が本当にきちんと理解しているかどうかは、単元末の小テストで確認します。



Ｗ校　生徒会主催　のみの市　幼小中高一堂に会して